

# 平成 28 年度 研究計画書

Research Plan FY2016

DATE : 2016. 6. 2

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア I・教授
氏名 Name	岸田文隆
専門分野 Academic Field	朝鮮語学

## 平成 28 年度 研究計画 (ホームページで公開) Research Plan FY2016 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	対馬宗家文書朝鮮語ハングル書簡類の研究				
<p>研究計画 (400 字~500 字で記入すること。) Research Plan (Approximately 100 Words)</p> <p>江戸期日朝間に往復した朝鮮語ハングル書簡は、従来長正統氏によって紹介された 8 通のみが学界に知られていたが、2009 年および 2012 年に対馬宗家文庫の一紙物目録および追録が上梓されるにおよび、100 通余りの新たな書簡類の存在が明らかとなった。これらの大半は、1811 年の通信使易地行聘の交渉において、朝鮮側の倭学訳官らが小田幾五郎等の日本側の朝鮮語通詞に送った書簡類で、外交の舞台裏を如実に伝えるとともに、当時日朝間で如何なることばがやりとりされていたかを具体的に伝える好個の言語資料である。これら書簡類は、日朝関係史を研究するための新資料としてのみならず、近世朝鮮語の新たな資料として、また、江戸期対馬の朝鮮語学の研究資料として、極めて重要である。</p> <p>一昨年度までの研究により、これらすべてのハングル書簡類につき解説をおこない、その成果として 2015 年 3 月に『対馬宗家文書史料 朝鮮訳官発給ハングル書簡調査報告書』が刊行されたが、いまだ資料批判に不十分な点があるので、昨年度からその改定作業をおこなっている。今年度の研究によりその精緻化をはかり、改訂版を刊行したい。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	言語学 (朝鮮語)	日本史 (近世)	アジア史 (朝鮮)	外国語教育 (朝鮮語)	
キーワード Keywords*2	対馬	倭学訳官	朝鮮語通詞	小田幾五郎	易地行聘